

議会の活動

平成29年
(2017年)7月
第156号

広報なごや 市会だより

市会だよりについて

市会だよりとは、市会の諸活動を広く周知することにより、議会への理解と関心を高めることを目的に発行しています。より分かりやすい紙面づくりを目指すため、平成22年6月号の市会だよりから、議員で構成する編集委員会を設置しました。

また、議会の活動に関する情報を積極的に公開・発信するため、平成23年度から市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をして参りました。しかし残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められませんでしたので、平成29年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

5月臨時会特集号

5月臨時会は、5月17日から19日までの3日間にわたって開かれました。

17日の本会議では、「名古屋市市税条例の一部を改正する条例の制定に関する専決処分について」を審議した後、正副議長選挙を行い、第92代議長に渡辺義郎議員を、第100代副議長に橋本ひろき議員を選出しました。

18日の本会議では、常任委員会及び特別委員会の委員選任を行い、本会議終了後に開かれた各常任・特別委員会において、それぞれ正副委員長を選出しました。

19日の本会議では、愛知県競馬組合、名古屋競輪組合、名古屋港管理組合、愛知県後期高齢者医療広域連合の各議会議員、名古屋市・愛知県調整会議構成員の選挙を行いました。また、副市長選任2件及び議会選出の監査委員選任2件について同意しました。

議長に渡辺義郎議員(自民)、副議長に橋本ひろき議員(民進)を選出

市民の皆様へ 正副議長就任に当たり



第92代 名古屋市長

渡辺 義郎
(北区選出)



第100代 名古屋副市長

橋本ひろき
(南区選出)

私たちは、このたびの5月臨時会において、第92代議長並びに第100代副議長に就任いたしました。歴史ある名古屋市の議長並びに副議長への就任は、大変光栄であると同時に、その責任、使命の重大さを痛感しております。

さて、本市においては、南海トラフ巨大地震の発生が強く懸念される中、震災対策をはじめ防災対策は喫緊の課題であります。

また、平成39年度に予定されているリニア中央新幹線の東京―名古屋間の開業を見据えたまちづくりや人口減少社会への対応など、本市はさまざまな課題に直面しています。

名古屋市会といたしましては、こうした課題に迅速かつ的確に対応していくため、選挙で選ばれた議員から成る市民の代表として、市長とは独立対等な立場から、是は是、非は非の姿勢で大いに議論し、議会としてのチェック機能をしっかりと果た

していくとともに、市民の皆様のさまざまな声に耳を傾け、市民の視点から政策立案、政策提言を行ってまいります。

また、名古屋市の会では、名古屋市議会基本条例に基づき、市会だより、ウェブサイトや本会議・委員会のインターネット中継などを活用し、議会活動に関する情報を発信してまいりましたが、議会活動を市民の皆様によりわかりやすくお伝えできるよう、これまで以上に積極的に情報発信してまいります。

議長・副議長として、議会のさらなる充実・発展に努めるとともに、市民の生命と財産を守り、市民の安心安全で快適な生活を実現するため、全力を尽くしてまいります。

市民の皆様のご理解とご協力を心からお願いいたします。ごあいさつとさせていただきます。

「なごや 子ども市会」を開催します

名古屋市会では、子どもたちが住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めてもらうため、市内に在住・在学する小学5・6年生を対象に、「なごや 子ども市会」を開催します。「なごや 子ども市会」では、子ども同士の話し合いや岩手県陸前高田市の子どもたちとの交流を通じ、お互いを思いやる心をより一層育む機会を設けます。

メインテーマ

大好きな名古屋を笑顔が
あふれるまちにしよう
～ 届け、わたしたちの思い～

内 容

- 子ども議員が、委員会(グループ)ごとに分かれて、現場視察や事前の話し合いをもとに、本会議でテーマごとに意見を発表します。
- 陸前高田市の子どもたちへメッセージを送ります。

日 時

本会議 平成29年8月5日(土) 午後1時開会

「なごや 子ども市会」の傍聴は子ども議員の関係者等のみとなっていますが、8月5日(土)の本会議はインターネット中継を行います。ぜひご視聴ください。

お問い合わせ先 名古屋市会事務局総務課 TEL 972-2083

エピソード ～ 子ども市会と「ぞう列車」～

名古屋市では戦後間もない昭和20年代前半に子ども議会が開催されていきました。絵本にもなった有名な「ぞう列車」を走らせたのは、その当時の子ども議会の要請でした。東山動物園に戦後生き残った2頭の象を東京の「台東区の子ども議会」の代表が名古屋市に借りに来ました。しかし、2頭の象を東京まで移動させることができませんでした。その代わりに、全国の子どもたちが東山動物園の象を見られるよう「ぞう列車」を走らせることになったのです。

「なごや 子ども市会」の開催に当たり、子ども議員のメッセージを送る陸前高田市に議長が訪問しました



右: 渡辺義郎 名古屋市長
左: 伊藤明彦 陸前高田市議会議員

6月5日から6日にかけて渡辺義郎議長が陸前高田市を訪問し、伊藤明彦市議会議員、戸羽太市長と面会しました。

渡辺義郎議長は、両市の子どもたちとの交流を深めるため、子ども議員一人ひとりのメッセージをお届けしたいと伝えました。

